

2018

6

June
No. 303

広報

みしま

Mishima Town Public Relations



新緑楽しみ健康増進

桐の里ウォーク2018

今回で3回目となる桐の里ウォークは5月12日に開催され、町内外から約160名が参加しました。参加者の皆さんは爽やかな気候のなか、8kmのコースを道中の景色を楽しみながら歩きました。

ものづくりの新たな担い手を目指して

農村生活と生活工芸技術を学ぶ

平成30年度三島町生活工芸アカデミー開講式



生活工芸アカデミー2期生の皆さん
(写真右から)

西山 明 代さん (兵庫県出身)
浅葉 寛 子さん (神奈川県出身)
佐野 知加子さん (東京都出身)
山本 美智子さん (千葉県出身)
安彦 健 一さん (桑折町出身)

平成30年度三島町生活工芸アカデミー開講式は、5月11日に生活工芸館で開催され、男性1名、女性4名のアカデミー生が入講しました。

開講式では矢澤町長のあいさつ、三島町議会議長や三島町生活工芸運動友の会会長から受講生へ歓迎のことばが贈られました。受講生の皆さんは、それぞれ自己紹介のなかで「地域の人たちと積極的に交流したい」「伝統文化を継承していきたい」などの抱負を述べました。緊張感がありつつも終始和やかな空気のなか式典が行われました。

受講生の皆さんは浅岐地区に住み、編み組細工や農業を学ぶとともに、地区の行事等への参加を通して町民との交流を深めながら町で生活していきます。

町民の皆さまも町内でアカデミー生を見かけた際は、お気軽に声をかけてください。

三島小オリンピック2018 最後までがんばる気持ちに金メダル

平成30年度三島小学校・三島保育所合同大運動会



平成30年度三島小学校・三島保育所合同大運動会は5月19日に三島小学校校庭で開催されました。「三島小オリンピック2018 最後までがんばる気持ちに金メダル」をスローガンに、保育所子どもたち、三島小の児童たち、そして保護者の皆さんも元気いっぱい競技に参加し、歓声が響き渡りました。



ボランティアこぶしの会 総会

文・写真 佐久間絹江さん（滝原）



ボランティアこぶしの会総会は4月29日に滝原林業集会センターにて開催され、平成29年度事業報告、歳入歳出決算報告ならびに平成30年度事業計画、歳入歳出予算案が満場一致で承認、可決されました。今年も国道沿いのゴミ収集、早戸温泉遊歩道刈払い作業、桐寿苑除草作業等の他に2年に一度の視察研修旅行を予定しています。

総会終了後に早速国道沿いのゴミ拾いを行いました。空き缶、空き瓶や燃えるゴミが多く捨てられており、分別すると3袋ずつにもなりました。終了後は弁当を食べながら互いの親睦を深めました。



滝原グラウンドゴルフクラブ 活動開始！

文・写真 佐久間絹江さん（滝原）

滝原 GGC（グラウンド・ゴルフ・クラブ）の今年度の練習は駒形神社前広場にて4月中旬から開始されました。例年通り月、土曜の午後2時より練習が行われ、今回も他地区からの参加がありました。4月30日には大会が行われました。練習を重ねた成果かホールインワンが何人も出て、さわやかな風のなか、歓声が響き渡りました。



健康を守る会 輪投げ大会・花見

文・写真 諏訪典子さん（大谷）



大谷健康を守る会が毎年実施している輪投げ大会と花見が、5月3日に大谷活性化センターにて開催されました。33名が参加し、輪投げ大会で4チームを編成し3ゲームを行い軽く汗を流し、表彰式では豪華景品に大きく盛り上がりました。その後花見にうつり、輪投げ大会を振り返るなど話が弾み大きな声で笑いあい、笑顔の絶えない楽しい一日を過ごしました。



「子どもの成長願い」岩倉山頂めざす

文・写真 本名与四郎さん（西方）

鬼子母神例大祭は、5月5日に西方地区の西隆寺と岩倉山本堂で行われました。鬼子母神堂は標高500メートルの岩倉山頂上にあり、明治初めに地元の庄屋が建立したものとされています。

今年も安産や子どもの健やかな成長を願い、町内外から多数参拝客が訪れ、お札やお守りを買って求める姿が見られました。小さい子は親に手を引かれ、まだ歩けない幼い子は親に背負われて、険しい山道を登り参拝する習わしが受け継がれています。

また、大神楽の団が鬼子母神例大祭にあわせて西方地区内を回りました。雨風が強い一日となりましたが、恒例の場所となっている西隆寺境内とふるさとセンター体育館内には、太鼓や笛の音に合わせた軽快な神楽を見たり聞いたりして、大勢の観客が心地よいリズムを楽しんでいました。





春の人足で道を守る

文・写真 本名与四郎さん（西方）



西方地区の春の人足が、5月13日の午前8時より正午近くまで行われました。作業の途中、ポツリポツリと小雨が降ってきましたが、作業を中断するほどの大雨にならず、14組の隣組はそれぞれ決められている人足箇所の仕事に汗を流しました。隣組によっては、出役人数が4人で作業を行わなければなりませんでしたが、隣組同士で協力し合う場面もみられました。今後、ますます高齢化が進み人足を続けていけるかどうか危惧されます。

各隣組とも、途中休憩をはさみながら、中学生の頃、岩倉山から杉の木を背負い、林道を降りながら手伝ったことや、夏休みとなると今では使われていない冷たい堤で泳いだことなど思い出深い話を聞くことができました。

人足を通して、地区の方々の絆や交流の大切さを感じた半日となりました。



春の人足作業

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

4月29日、午前6時より、地区の34名の参加により人足作業を行いました。

作業は春先に毎年行われているもので、春日神社境内の冬囲いはずしと清掃作業、地区内町道の側溝土砂上げ等の作業を行いました。地区の皆さんは共同作業で気持ちのいい汗を流しました。

作業途中より、地区消防班による路面への放水作業も行われました。2時間程度で全作業が終了し、晴れやかな気持ちで解散しました。



春の訪れ「太神楽」公演

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）



4月30日、毎年恒例の柳津町の「藤の和太神楽」の公演が地区多目的集会所で開催され、子どもから大人まで約20名が来場しました。

午前9時より各戸へ獅子入れをし、御札を配布しながら地区の皆様の健康と五穀豊穡を願いながら、「神楽音」を大きく響かせていました。

午後2時より、集会所で様々な演目も披露され、約2時間の講演中、地区の皆様の大きな拍手と笑い声が響き渡り、楽しいひとときを過ごしました。

また、今後の地区の課題として、入場者が少子高齢化の進行により減少傾向にあるという心配の声が聞かれました。

📷 24名参加で国道などの清掃作業

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

5月6日、桧原ボランティアの会は、国道などの清掃作業を行いました。午前8時より、地区集会所前で出発式を行い、片山一雄会長より作業中は特に交通事故防止に努めてくださいとあいさつがあり、その後地区周辺の国道、県道や町道約4kmを3班に分かれて空き缶等のゴミ拾いを約2時間行いました。

清掃作業はゴールデンウィークに合わせて毎年実施しているもので、少しずつではありますが、毎年ゴミの量が減少しており、参加者はドライバーの皆様のマナーが良くなってきているのでは、と話していました。

また、午後6時より総会が開催され、今後の事業計画が承認されました。総会終了後は懇親会が行われ、会員の親睦を深め楽しいひとときを過ごしました。



📷 地区の鎮守様（諏訪神社）の清掃活動

文・写真 目黒民一さん（滝谷）



5月8日、滝谷松寿会（目黒俊正会長）は、地区の鎮守諏訪神社境内の清掃を行いました。諏訪神社は昭和37年に諸般の事情により、当地に遷宮され、それ以来松寿会によるこの活動は50年以上続いているそうです。

この日も朝早くから会員の皆さん20名により、鳥居手前の手水舎ちようずやから60段の急勾配な石段や、拝殿周辺の落ち葉や枯葉等の掃除をてきぱきと行い、みるみる間に綺麗になりました。清掃作業はおおよそ2時間で完了しました。

さわやかな薫風が吹きわたる中で、皆さんの顔には清々しい汗が光っていました。

📷 大好評の川井休憩所

文・写真 角田伊一さん（川井）

5月12日に行われた、第3回「桐の里ウォーク」に出店した川井地区のおもてなし休憩所に、参加者の皆様がほぼ全員立寄られ、無料提供した飲み物や食べ物に舌鼓をうたれ、「おいしい、おいしい」と大好評を博しました。

川井地区はウォークコース最後の休憩所ということで、参加者の皆さんはややバテ気味のところ、おもいがけない地区婦人会の接待による、冷たい麦茶やコーヒーゼリー、バナナにわれ先にと手をのばされ、婦人会員とよもやまの会話を交わすなど大好評を博し、地区の伝統食「なっば飯」に昭和時代のレトロを覚えたのか、中には涙ぐみほうばっというしゃる方もおいででした。





「棚田お田助オーナー」田植え行われる

文・写真 菅家壽一さん（間方）



5月20日、宮ノ前地内において、オーナーとご家族やお友達、そしてお田助隊がかけつけてくださり、田植えが行われました。近年、高齢化や採算が合わない等により、耕作されない田んぼが増え、美しい里山の景観も損なわれつつあります。

このため、地区外の方々の力をお借りして、楽しみながら美しい景観を守っていただくとともに、自分でつくったお米で美味しいご飯を食べていただこうと実施しているものです。この日は、仙台市、福島市、郡山市、会津若松市、会津坂下町、会津美里町、浅岐から18名がかけつけてくださり、6枚の田んぼ約4反にひとめぼれ・こがねもち、マコモダケを植え、とても賑やかな田植えになるとともに、美しい景観を維持することができました。また、伝統食研究家の平出先生は、炎天下にも関わらず、いろんな種類の天ぷらを揚げてくださり、お餅とともに、みんなで美味しくいただき、サナブリも一緒に済ませました。稲刈りと稲扱きも、多くの方にお田助けいただき実施する予定です。



町内を花でいっぱい

文・写真 小島純さん（宮下）

宮下地区（近藤勇彦区長）と荒屋敷地区（鈴木武彦区長）では花いっぱい運動として、恒例の花植え作業を行いました。両地区より多数の住民が参加し、プランターに花の苗を移植し、地区委員により各隣組長や町内事業所に届けられました。同時に宮下活性化センターの花壇およびプランター、駅前広場、宮下大膳広場の大型プランターにも苗の移植が行われ、色とりどりの花が町内を飾りました。



三島町商工会通常総会開催

文・写真 小島純さん（宮下）



平成30年度三島町商工会の第57回通常総会が5月23日三島町商工会館で開催され、会員25名、来賓6名が出席しました。佐久間源一郎会長のあいさつの後、永年勤続優良従業員の表彰状授与が行われ、(株)会津桐タンスの渡部威仁さん（勤続10年）に佐久間会長より表彰状が手渡されました。来賓祝辞の後議事に入り、上程された議案が全て承認され、役員改選では会長に佐久間源一郎氏、副会長に布川孝平氏、五十嵐健二氏が選任されました。



おいしいお米になりますように

文・写真 小島純さん（宮下）

宮下地区（近藤勇彦区長）、三島小学校と公民館の交流事業の田植えが5月24日、三島神社前にある「田んぼの学校」で行われました。三島小学校全校生と宮下地区委員、びおたんクラブの役員が参加し、もち米の田植えに汗を流しました。児童たちがびおたんクラブの役員の方々から指導を受け、泥んこになりながらも一生懸命作業し、おいしいお米になることを祈りつつ終了しました。





三島町子育て世代包括支援センターを開設しました！

～妊娠・出産・育児まで切れ目のない支援を行います～

三島町では、健やかに安心して妊娠期を過ごし出産・子育てができるよう、切れ目のない支援をしていくための相談窓口として、三島町役場町民課内に「三島町子育て世代包括支援センター」を開設しました。妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みについて、どんなことでも気軽にご相談ください。

保健師や管理栄養士、福祉担当者が、必要に応じて保育所や学校、医療機関、福祉機関と連携し、相談に対応いたします。電話相談の他、家庭訪問等での相談も行います。



たとえばこんな時にご相談ください

- 初めての妊娠でいろんなことが心配
- 赤ちゃんが母乳をのんでくれない
- 育児に自信が持てない、子育てがうまくできていない気がする
- 子どもの発達が心配、発音が気になる
- 夜泣きが続いてつらい
- 学校や保育所でのお友だちとのかかわりが知りたい
- 最近子どもがなんとなく元気がないように感じる
- その他子育てに関すること



相談受付時間

- 月曜日～金曜日
(祝祭日・年末年始を除く)
- 午前8時30分～午後5時15分
- 電話番号(テレビ電話同)
町民課保健福祉係 (48) 5565





頭痛薬や打ち身などの痛み止めのなかにエヌセイド（NSAID／非ステロイド性抗炎症薬）と呼ばれるものがあります。この鎮痛薬は飲むものと貼るものがあり、早く効き、痛みにはありがたい薬ですが、腎臓の血流を低下させ、腎臓の機能を低下させてしまうことがあります。

鎮痛薬は急性期の痛みなど様々な場面で必要なものですが、痛みがそんなになのに漫然と使い続けている方もいて、保健師が訪問しデータを見せてもらおうとあれよあれよと腎機能が落ちてきている時があります。

腎臓を傷めないよう、長期に使うことをできるだけ避けたり、お医者さんに相談しながら使えるといいですね。

三島町特定健診では県内市町村に先がけて微量アルブミン尿検査という検査を実施しています。これは修復可能なうちに腎臓の傷みを知ることができる検査です。ぜひ健診を受診して下さい！また、国保以外の方でこの検査を希望される方は町保健師にお問い合わせください。



○総合健（検）診日程

月 日	対象地区	受付時間	場 所
6月17日⑩	宮下・中平・荒屋敷・名入	午前8時～午前10時	三島町町民センター
6月18日⑨	西方・桧原・小山・高清水		
6月19日⑧	川井・浅岐・間方・大石田・早戸		
6月20日⑦	桑原・滝谷・大谷・滝原・大登		

図書のご案内

●寄贈本の紹介

宮城県富谷市在住の辻 芳男さんより本を寄贈いただきました。

『《会津地方》集落と分校～過疎の現状を見て～』

著者：鷺山 義雄

大石田、桧原、早戸、間方、浅岐、滝谷分校について写真や寄稿で紹介されていますので、ぜひご覧ください。



●新着本●

題 名	著 者
屍人荘の殺人	今 村 昌 弘
琥珀の夢 上	伊 集 院 静
琥珀の夢 下	伊 集 院 静
女と男の品格	伊 集 院 静
7歳までのお守り BOOK	西 野 博 之
10歳からの見守り BOOK	西 野 博 之

○利用時間 ⑨～⑫ 午前9時～午後9時 ⑤・⑩・㉞ 午前9時～午後5時

問 公民館 ☎ (48) 5599

町史編さん室だより

第29回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、
交流センター山びこまでご一報ください。
☎(52) 2165

大登の道（大登地区）

いわゆる江戸時代は、行き先を道の名前とする名づけ方法である「行き先名前」が利用されていました。「異名同道」という特色が否定されるのは明治二十四～二十六（一八九一～九三）年ころの新政府による政策で、ひとつの道にひとつの名前の原理が導入されます（水本邦彦『徳川社会論の視座』）。

大登でお話しを聞いていると「おおたにみちのほう（大谷道の方）」という言葉がよく出てきます。多賀神社脇から大谷に至る道を指しています。また「おのはらみち（小野川原道）」にカヤ刈り場の共有地があり、そこで刈ったカヤを馬の背に積んで村（集落）まで運んだ、とも語られます。

大谷から見れば、大登に行く道は「大登道」となります。行き先の名前が道の標準であった名残がまだ残っています。

さて、尾張藩（現在の愛知県）の佐久間隼三郎が書き残した「尾張藩北越日記」（稲川昭雄編『北越戊辰戦争史料集』）を読むと、佐久間が会津盆地で鶴ヶ城を包囲していた尾張藩正気隊を離れ、滝谷から駒啼瀬峠、大登、大

谷から浅岐・間方、そして美女峠を越えて野尻中向（昭和村）を通り、小中津川に宿陣していた尾張藩の五味隊長と面談した、との記録があります。分散する尾張藩各隊の連絡を担った兵士の記録です。

明治元（一八六八）年九月十九日の記録は次のように書かれています。

十九日好天気。早朝発途、駒鳴セ峠・美女峠、二嶺ヲ越テ、薄暮中津村（中向村）に宿ス。二十日好天気。小中津川村ニ至リ、五味隊長ニ面談シ知賀総括ノ命令ヲ伝ヘ、巳之中刻、当村ヲ出、琵琶ノ峠（柳沢峠）ニ至ル。（以下略）

（ ）内は筆者による

また沼沢村（金山町）から宮下村を經由して大登村で休憩し、砂子原村（柳津町）に馬に乗って移動した人の日記も残されています。東洋大学の創立者である井上円了の『南船北馬集』第十六編で、大正七（一九一八）年十月二十八日の記録です。

（只見）川に沿うこと二里にして西川村字宮下に至る。その間の紅葉また大いによし。有志渡部禎二氏宅に一休して大登嶺をのぼり、中ノ川村字砂子原（柳津町）に入る。宮下より二里、この日、行程六里。

（以下略）

（ ）内は筆者による

このように大登は人々が往来する道の途上にありましたが、時代が下るにつれ大登を通らず大谷へと至る道（県道59号線）が整備されたことと、砂子原への道が利用されなくなることから、人通りは少なくなりました。

文 三島町史編さん専門委員 菅家 博昭

愛ばんしょ外来のお知らせ



「みしま健康ポイント」の対象です！

宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来（愛ばんしょ外来）」を行っています。

- ①病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※相談コーナーでは、例えば……
 「健康のことを考えたいけど、何をすればいいかわからない」「介護のコツを知りたい」「話し相手が欲しい」など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

<各コーナーの開催時間のお知らせ>

相談コーナー 午前 9～12 時、午後 1 時～午後 4 時
 健康教室 午前 11 時～午前 11 時 30 分
 住民交流事業 午前 10 時～午前 11 時
 宮下病院外来待合室で行います。

月 日	内 容
6月7日(木)	・相談コーナー ・健康教室「トイレで困っていませんか？」 (講師：看護師)
6月14日(木)	・相談コーナー ・健康教室「いつでも簡単！タオル体操のススメ」 (講師：理学療法士)
6月21日(木)	・相談コーナー ・健康教室「食中毒にご用心」 (講師：看護師)
6月28日(木)	・相談コーナー ・住民交流事業「赤べこ絵付け体験」 (講師：柳津町観光物産館職員)
7月5日(木)	・相談コーナー ・健康教室「そろそろ心配 熱中症」 (講師：看護師)

※健康教室の内容は、変更になる場合があります。

費用は無料です。また、参加すると「みしま健康ポイント」が貯まります。どなたでもご利用可能ですので、お気軽にお越しください！（予約不要です）職員一同、心よりお待ちしております！

☎宮下病院 ☎ (52) 2321

消防署からのお知らせ

平成 30 年度「危険物安全週間」の実施について



平成30年6月3日(木)～6月9日(水)までの7日間



この一球 届け無事故へ みんなの願い

危険物安全週間は、毎年6月の第2週に全国的に実施されており、今年は6月3日から6月9日までの間に行われます。これは危険物の危険性を確認し、危険物による事故ゼロを目指す取り組みです。危険物とは ①火災発生の危険性が大きい ②火災拡大の危険性が大きい ③消火の困難性が高いものをいいます。私たちの身近なものでは、ガソリン・灯油・油性塗料等があります。特にガソリンは揮発性が高く、静電気でも引火してしまいます。静電気を除去し、タバコなどの火のついたものを近づけないように十分注意しましょう。

また、各家庭に設置されている住宅用火災報知機のバッテリー交換期限は機種によって異なりますが、目安はおおむね10年ですので、いざというとき鳴らないことのないように各自点検をお願いいたします。

火事・救急・救助は119番まで
 会津坂下消防署三島出張所 TEL 52 - 3032 FAX 52 - 3033

【平成 30 年度 宮下病院「心ある医療」出前講座のご案内】

県立宮下病院では、地域の方々との交流を深め、皆さまに信頼される病院運営に向けた取組みの一つとして、平成 20 年より「心ある医療」出前講座を開催しております。この「出前講座」は宮下病院の医療スタッフが直接、皆さまの元へお伺いして、病気の予防や健康増進などをわかりやすくお話しするものです。

今年度は新たに下記の 10 メニューを追加しました。昨年度までの 21 メニューはもちろん、メニュー以外の内容についても対応可能ですので、皆さまの日ごろの疑問解消や興味のある分野でお役に立てれば幸いです。

※昨年度までのメニューをお知りになりたい方は担当へお問い合わせください。

○平成 30 年度からの新しいメニュー

No.	講座名	内容説明	所要時間	対象者	担当
22	ハチに刺されてしまったら ～ハチに刺されたときの対症法～	①アナフィラキシーショックについて ②ハチに刺されたときに、どう対応するか ③ハチに刺されないための工夫	10 分	地域住民	看護師
23	救急車の呼び方 ～救急車を呼ぶときに注意すること～	①どんなときに救急車を呼んだらいいのか ② 119 番をすると、どのようにして救急車は家まで来るか ③デモンストレーション	15 分	高齢者	看護師
24	あら、大変！ ～病院に行くまでの応急処置～	①キズからの出血 ②骨折しているかも…③やけど ④意識がない… ⑤窒息のときの対処法	20～30 分	地域住民、施設職員	看護師
25	『もしばな』のススメ ～人生の最期を自分らしく生きるために看護師からの提案～	①「ピンピン・コロリ」を考える ②現代の人々がどのような最期を迎えるのか ③「縁起でもない話」を語る大切さ	20～30 分	地域住民	看護師
26	意外と多い熱中症 ～ふだんの対策で大丈夫かな？～	①水を飲んでるだけでは防げない ②お茶を日陰で飲めば大丈夫？ ③熱中症の症状とは？	20～30 分	地域住民	看護部
27	ノドをきたえよう ～肺炎や窒息を起こさないために～	①なぜ肺炎や窒息を起こすの？ ②肺炎を起こすとどうなるの？ ③窒息するとどうなるの？ ④予防するために、どうノドをきたえるか。やってみよう	20～30 分	高齢者	看護師
28	備えよう！ ～災害に備える～	①過去に三島町・金山町周辺で起きた災害 ②三島町民の防災意識(平成 27 年の調査結果から) ③いつでも、どこでも起きうる災害 ④命を守ろう・・・ (普段準備しておくこと・避難場所を確認しよう)	30～40 分	三島町民	看護師
29	インフルエンザウイルス、 ノロウイルス対応について ～早期発見から対応まで～	①流行期に備えて行うこと ②利用者ベッドコントロールについて ③インフルエンザウイルス、ノロウイルスが発生した場合の早期対応から防止策 ④施設内の状況を知る方法 ⑤吐物の処理方法	30～60 分	施設職員	看護師
30	野菜を食べて生活習慣病予防 ～彩りよく野菜を食べる～	①野菜の栄養について ②7つの彩りに含まれる機能性成分について ③季節の野菜を使った簡単レシピの紹介	30 分	地域住民	管理栄養士
31	棒体操をやってみよう ～いつでも、どこでも、心と体リフレッシュ～	簡単な体操用具の作成と実技 〔準備品〕新聞紙、包装紙、セロテープ、ビニールテープ	45 分	地域住民	理学療法士

○お知らせ

本年度、当院に理学療法士が 1 名配置され、リハビリテーション（機能訓練）が充実しました。膝や腰などの痛みを悩んでいる方は是非ご相談ください。

○申込み及び問合せ先：県立宮下病院 事務部「出前講座担当」 TEL 0241-52-2321 / FAX 0241-52-3133

東北電力からのおねがい

発電所やダムから水を流したときの水難事故を防ぐため、各所に注意札を立てております。水を流すときは、スピーカーやサイレンによってお知らせしますので河原にいる人は危険ですから、すぐ安全な場所に移動されますようお願いいたします。

次のときにスピーカーをならします

- ① ダムから初めて水を流す約10分前
- ② 発電所から初めて水を流す約10分前
- ③ 発電所の出力を増やし水を多く流すとき
(放送内容)

「今から川の水が急に増えます。河原にいる人は危険ですから、すぐ上がってください。」

※毎日9時にスピーカーの音を実際に鳴らして、装置の点検を行っております。

次のときはサイレンをならします

- ① ダムの流量が毎秒1,000m³に達したとき
- ② ダムの流量が毎秒2,000m³(洪水量)に達したとき
- ③ ダムの流量が洪水量オーバー後毎秒1,000m³増加毎
(警報内容)

サイレン	サイレン	サイレン
■■■■■	休み ■■■■■	休み ■■■■■
50秒	50秒	50秒

<河川への不法投棄はやめましょう！>

<問い合わせ>

東北電力株式会社社会津技術センター制御所

(☎ 0242 (22) 2220)

只見川ダム管理所

(☎ 0241 (52) 3422)

阿賀野川水系ダムの状況を当社HPから閲覧出来ます。

東北電力HP — 災害に備えて

— 阿賀野川水系ダム情報

佐久間建設工業(株) 日本赤十字社福島県支部に寄附



佐久間建設工業(株)佐久間源一郎代表取締役より日本赤十字社福島県支部に寄附をいただきました。寄附金は三島町分区長である矢澤町長を通して日本赤十字社に贈られ、災害救護や国際支援といった活動に活用されます。



会津坂下警察署からのお知らせ

会津坂下警察署管内で

4月中に2件の交通事故発生！

2件とも高齢者運転者が関与の事故です。昨年、高齢者が起こした交通事故のうち、対向はみ出しによる事故が42件、ブレーキとアクセルの踏み違いによる事故が18件発生しています。

加齢による身体機能の低下が運転に影響を及ぼすことを自覚した安全運転に心がけてください。また、高齢の方や運転に不慣れな方は、自動ブレーキや踏み違い時加速抑制装置など事故防止技術が搭載された安全運転サポート車の利用を検討してください。

なりすまし詐欺被害で186万円の被害

公的機関を名乗る電話に注意！

5月10日、いわき市に居住するAさん(70歳代、男性)方に、金融庁を名乗る男から「口座から勝手にお金が引き落とされている。新しい通帳に取り替えるので職員が取りに行く。」などと電話があった。この話を信じたAさんは、自宅を訪れた男に、通帳とキャッシュカードを渡し暗証番号を伝えたため、口座から現金を引き出される被害にあったものです。

薬物の恐ろしさを知っていますか？

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

薬物の乱用は健康に悪い影響を及ぼします。そして、薬物依存になると、不安、被害妄想などの症状が現れます。幻覚や妄想によって殺人、放火など重大な犯罪を引き起こすこともあります。

また、薬物を買うために、借金をしたり、窃盗などの犯罪に手を染めるようになります。薬物は人生を滅ぼします。

後期高齢者医療保険では

歯科口腔健康診査を実施します

被保険者の皆様の歯科健康保持および疾病予防のため、平成30年度は下記の内容で歯科検診を実施しています。

歯の健康は、口腔状態の悪化による歯周病予防や、噛む力の低下による誤えん性肺炎予防のために、とても重要です。

この機会に歯科検診を受診しましょう。

対象者 福島県後期高齢者医療保険の被保険者で、昭和17年

4月2日から昭和18年4月1日までに生まれた方

(前年度中に75歳に達した方)

健診項目 問診、歯(義歯)、咬合、歯周組織、嚥下の状態等

健診費用 無料

健診機関 平成30年6月1日(金)～平成30年11月30日(金)

留意事項 ①対象歯科医院において実施していますので、詳しくは5月下旬に各対象者へ配布された案内状をご覧ください。

②歯科検診が無料で受診できるのは1回となります。

③東日本大震災により避難されている方も、避難先で受診できる場合があります。

④長期入院されている方や介護施設へ入所されている方は、対象とならない場合があります。

問合せ先 福島県後期高齢者医療広域連合

☎ 024(528)9024

社会福祉協議会より

サロンのご案内

▼**高清水・小山いきいきクラブ**
6月4日(月) 13時30分
高清水集会所

▼**浅岐あつたかサロン**
6月6日(水) 10時～
浅岐集会所

▼**大石田友遊サロン**
6月8日(金) 10時～
大石田生活改善センター

▼**サロンないり**
6月11日(月) 10時～
名入集会所

▼**松原はつらつクラブ**
6月12日(火) 10時～
松原多目的集会所

▼**間方いきいきクラブ**
6月13日(水) 10時～
間方集会所

▼**川井友愛サロン**
6月15日(金) 10時～
川井集会所

▼**滝谷和楽塾**
6月26日(火) 10時～
滝谷集会所

▼**ひまわりサロン遠足**
6月27日(水)
山形方面

☎ 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

街頭犯罪発生件数 (平成30年4月30日)

区分	管内	三島町
空き巣	1	
忍込み	1	
事務所荒し	1	
自動車盗	1	
自転車盗	2	
自販機ねらい	7	
車上ねらい	4	
部品ねらい	2	
街頭犯罪合計	19	0
全刑法犯	40	1

町からお知らせ

6月分納税のご案内

【納期限 7月2日】

▼町県民税(第1期)

忘れずに納付ください。

☎ 町民課町民係

(48) 5555

町の人口と世帯

5月1日現在

人口	1,660	4	出生	0
男	820	4	死亡	0
女	840	0	転入	15
世帯	773	-5	転出	11

⑨住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

「限界集落」という用語が、平成11年頃から頻りに雑誌や新聞等に登場したのは時代的背景が考えられます。「国土の均衡ある発展」を基本理念にして昭和37年から平成20年まで約50年にわたって、国土計画は「地域間の格差是正」「国土利用の均衡」「多極分散型国土」「国土の均衡ある発展」の表現で第6次まで国土の形成を大きな柱として様々な事業展開してきました。国の時代的背景を見据えた計画や施策の実施、今置かれている我々の山村の状況を考える時、必ずしも「均衡」や「共生」という表現が適切であったか、我々も自分の足下をみて再考していく必要があると考えています。

平成19年10月に「地域活性化統合本部」が設置され、この本部は「地方再生」を大きな議論の主眼としていたと言われております。その本部で検討された主な内容は「都市と地方の共生」を基本理念として地方都市と農山漁村の関係性、そして条件不利地域、つまり「限界集落」等が対象として論じられてきた経過があります。「限界集落」や「消滅集落」の用語は雑誌や論文そしてテレビ新聞等で平成17年以降多く取り上げられ、平成20年以降は急速に登場回数は少なくなってきましたが、しかし我々山村地域に生きている者にとっては、この用語をブームに終わらせることなく現実と向き合い、「限界集落」や「消滅集落」克服の処方箋をどの様に描いていったらいいのか、非常に苦慮しているところであります。

昭和40年頃から始まる、高度経済成長による都市部への人の移動、過疎や過密という用語が日本中を覆い、そして現在の山村は人口の流出は沈静化してきたが、人口構成の高齢化が進み、新生児の誕生は少なく、徐々にそして確実に中山間地域の人口減少はとどまることがないのであります。それと平行して、耕作放棄地や山林の荒廃、そして集落機能であります、結いの構造の衰退や道普請等の共同作業維持機能の脆弱化、空き家増加の状況下において、最後の砦である、山村に住む誇りの喪失感が地域に充満したとき「日本の中山間地域」は人の住めない地域となってしまうのかと考えています。

これらの風を新しい風に変える処方箋は、絶対あると信じていますし、その処方箋を地方から提案していく事が我々の責務であります。次回でその考えの一端であります、循環型地域社会の構築や経済システムの考え方を述べ、さらなる三島の地方創生の充実を図ることが出来ればと考えています。

三島町長 矢澤 源成

町会津三島町

平成30年 新指定

国重要文化財

荒屋敷遺跡出土品展



平成30年 6月5日(火)～7月1日(日)
開館時間 9時～17時(最終入館16時30分) 入場無料 月曜休館



三島町交流センター山びこ

〒969-7402 福島県大沼郡三島町大字名大字諏訪ノ上418 TEL0241-52-2165

主催：三島町教育委員会 交流センター山びこ